

2026年
1月1日
第503号



JR東海労

<http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/>



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5
Tel 03-3201-0350 FAX 3201-0351
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩



闘春

【写真】 新幹線地本 佐藤 正美

更なる労働者の連帯を強く出せ！！

中央執行委員長 淵上 利和



明けましておめでとうございます。組合員・OBの皆さん、そしてJS労、JE労の組合員の仲間の皆さん、JR東海労の運動の拡大に向けた取り組みへのご協力、ご支援、大変にありがとうございました。

今年は、つくり出してきた運動と連帯の広がりを中心に、JR本体はもとより、関係会社、地域からの組織拡大を必ず実現していきたいと思えます。

私たちは一昨年12月、労働者の連帯を破壊し否定するJR総連運動から決別しました。企業内労働運動の限界を突破し、全ての労働者との連帯を求めて、JRひがし労、回転寿司ユニオンをはじめ、志を同じくする業種・地域を超えた多様な仲間たちとの連帯を深めてきました。そしてJR東海労の組織展望と運動の拡大を築き上げできました。その上において、一層の連帯を目指し、取り組みを強化していきたいと考えています。

労働組合が取り組むべき目的と課題は「労働者の組織化と連帯」であり、労働組合の本質的な役割です。組合員の労働条件向上のための闘い、企業内労働組合の枠を超えた支援、そして憲法9条を守り平和な社会を築いていくことは、私たちにとって重要な課題です。

高市政権は、労働時間規制の緩和のために労働基準法を改悪し、労働者の犠牲をもって日本経済の立て直しを図ろうとしています。そして、日本の安全保障政策において重要な役割を担う安保3文書を見直し、防衛力強化へと動いています。それは、労働組合への弾圧が強化されることを意味し、取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした状況下だからこそ、労働者の連帯を求めて闘っていくことの重要性を改めて認識しなければなりません。

本年も、相互の連携を密にし、共に力を合わせて、これらの課題に取り組んでいきたいと思えます。

JR東海労と共に闘う仲間・各地本委員長からの新年の決意

組織拡大の闘いを展開する！

J S 労執行委員長 柳楽 関



新年明けましておめでとうございます。昨年中は厳しい労働環境の中でご協力いただきありがとうございました。今年も変わらぬようよろしくお願いいたします。

昨年9月7日、JR東海新幹線エンジニアリング株式会社大阪支社で働く労働者がJRSE労働組合(略称JE労)を結成しました。私たちJS労に次ぐ二番目の労働組合の結成です。JS労は、JE労の結成に対して、同じJR東海の関連会社で働く労働組合として敬意を表する共に、JR東海労連への歓迎の意を表します。サービスクも新幹線エンジニアリングもJR東海の子会社であり、そこに働く労働者の労働条件は親会社であるJR東海と比較して決し

地に立たされています。しかし、そこで働く労働者への責任転嫁は許されません。全ての社員が期待した大阪・関西万博での苦勞への還元は、残念ですがありません。でも変えようとした試みの一つが新労組の結成であり、それは既存の労働組合への刺激となり、結果として要求の改善につながると思います。

会社を取り巻く環境は、厳しいと言われています。親会社であるJR東海は、リニア問題で窮

「数は力なり」という言葉があります。年末に実現した組織拡大を更に推し進めるために、全社員の皆さんにJS労への結集を呼び掛けていくことを表明し、新年のご挨拶とします。

て恵まれているとは言えません。この現実を少しでも変えようとした試みの一つが新労組の結成であり、それは既存の労働組合への刺激となり、結果として要求の改善につながると思います。

労働者の立場に立った労働運動を展開する！

JE労執行委員長 山本 真治



新年明けましておめでとうございます。仲間の皆さんに心より新年のご挨拶を申し上げます。

昨年9月7日、職場の労働条件改善・労働者の権利と利益を守るために、JRSEで働く仲間

と共にJRSE労働組合(JE労)を結成しました。現在、親会社であるJR東海は、リニア建設で11兆円を超える巨額な費用が必要となり、更にその完成時期も依然として不明確です。これは、JR東海一社の問題に留まらず、グループ全体、特に子会社であるJRSEの経営基盤と将来に、直接的な影響を及ぼす重大な課題です。この状況下、JRSE

においても人件費抑制や労働強化による更なる労働条件の悪化が強く懸念されます。既に現場の労働者は、過酷な業務環境の中で、肉体的・精神的な疲労が限界に達しています。改善されない処遇や、増え続ける業務量に対する不平不満、深刻な悩みなどが山積しています。

JR東海労と共に闘う！

JR東労組合(JRひがし労)中央執行委員長 松下 明



JR東海労の皆さん、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

いま、私たち労働者や市民を取り巻く状況は、貧困と格差の拡大によって、益々厳しい生活を余儀なくされています。このような中で、金権腐敗にまみれた高市政権は、三位一体の労働市場改革を押し進め、一切の犠牲を労働者や市民へ転嫁し

題を改善・解決していくことが今、私たちに課せられた最大の使命です。JE労は、本年も「職場の労働者の立場に立つ」という原点に立ち返り、組合員一人ひとりの生活と、労働条件改善・権利と利益を守るための労働運動を、より強力に、より具体的に展開していく決意をここに改めて表明いたします。

私たちは、この切迫した現状から目を背けることはできません。労働組合として、仲間と共に現場の声を一つひとつ丁寧に拾い上げ、これらの問

ようとしています。更に、ファシズム化への道を突き進み、国民総監視体制の強化を図り、大軍拡と憲法改悪を実現しようとしています。

このような状況の中で、JR東労組合はプロレタリアヒューマニズムに基づき、困窮に喘ぐ労働者や市民に寄り添った運動を推し進めていきます。そして、産業事業構造の転換に立ち向かうと共に、反戦平和の闘いを広範に展開し、組織の強化拡大を図ります。そのため、地域型組織づくりや横断的職場づくりを精力的に展開し、横断的労働組合を創造してい

きます。また、JR東海労の仲間とは「津崎・熊谷裁判」への支援激励行動や2026春闘勝利に向けた運動などを通じて、更なる連帯を図り、日本労働運動の再創造に向けて共に

先輩たちを乗り越えた力を創造する喜びに

敬松塾塾長 田中 栄六



再び繰り返された組織破壊に抗し、JR東海労の旗に結集した仲間連帯の挨拶を送ります。

私は、JR総連一部役員による組織破壊攻撃で1991年8月を想起しました。当時私は、統一労組(JR東海労組)の新幹線地本委員長でした。労使関係では労働組合として、各分会代表参加の「ミニ二経協」で諸要求を解決してきました。また、スト権議論でも会社側のスト権議論反対の意見は皆無でした。統一労組新幹線地本では労労問題もありませんでした。

闘っていきます。最後に、JR東海労の組織強化・拡大と、組合員ご家族の方々が幸多き一年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

大きな苦悩をかけてしまった思いです。他方で、当時の本部・地本・分会役員で指導した立場のOBが、分裂を煽とするのかも考えさせられました。でも後輩たちの呼びかけに応えた元新幹線運転士の堀江實氏は、若者との交流座談会で鉄道人生を語りました。指導職で人を評価することはできないとして、運転士に戻らなければならないことを希望しました。だが、希望を足蹴に退職ポイント掃除に向を命じられる屈辱も味わっています。全ての鉄道人生が動労とJR東海労の組合員であったが故のことでしょう。鉄道人から離れて30余年の90歳です。私は若者たちに呼びかけられる先輩であり、JR東海労に寄り添う組織愛を痛感しました。先輩たちを乗り越えた労働者の質をガッチリと打ち固め、雄々しく前に共に進もう！

全ての闘いを

組織強化・拡大に！

新幹線地本 伊藤 一也



明けましておめでとうございます。昨一年間の新幹線地本の取り組みに対して多くの激励、ご協力に改めて感謝を申し上げます。

昨年10月8日、診断書強要行政訴訟控訴審で東京高裁は、第一審勝利判決を更に補正し、会社が団交を拒否したことは不当労働行為であると認定し、完全勝利判決を勝ち取りました。地方でも団交を開催させるため、今後も会社の労働組合軽視

の姿勢を糾すために闘いを更に強化します。また、未来を切り拓くために、JRひがし労との連帯を始め、多くの仲間との交流・連帯をつくり出してきました。今後も、更なる連帯の輪を広げていくために奮闘します。

労働者・市民との

連帯を広げる！

静岡地本 半場 弘恭



新年明けましておめでとうございます。昨一年間の静岡地本の取り組み

に対する激励や支援に対し、改めて御礼を申し上げます。

昨年は、平和・人権・民主主義を守る闘いと、リニア建設反対の闘いを軸に、職場諸問題の解決に向けて取り組みました。また、OB3名が組合員として加わりパワー

アップしました。地本は昨年8月、キャンプを開催しました。ペルーの労働者と子供たちも参加し、交流を深め、同時に彼等の労働環境を取り巻く現実を共有することができました。今年も引き続き、この間の闘いを継続し、冤罪天竜林業高校事件の支援

行動、リニア建設に反対する市民団体との連帯強化、諸行動を通じた組織強化・拡大を実現させるために取り組んでいきます。

安全・平和・連帯の

闘いを展開する！

名古屋地本 松山 文成



新年明けましておめでとうございます。旧年中は名古屋地本に対して多くの激励、ご支援に感謝申し上げます。

名古屋地本は、JR総連から決別をして以降、何の制約もない中で新たなスタートを切りました。これまでに、ストツプリニア中央新幹線！学習会を5月31日に開催し、地域で活動されている「春日井リニア新幹線を問う会」川本事務局長、「東濃リニアを考える会」

代表に地域での現状の報告を受け、工事による多大な影響を受けていることを学習しました。労働者支援相談センタ

10.15集会より



いを共有し、連帯を深めました。

1の取り組みでは組織拡大を実現し、医療法人との団体交渉も行い、地域の労働者の待遇・職場改善に向けての闘いをつくり出しました。6月28日にはあいち平和映画祭2025に参加し、地域の皆さんと共に平和への想

JS労・JE労と共に闘う！

新幹線関西地本 笹田 伸治



新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

私たち新幹線関西地本は、職場・地域から虐げられ苦しんでいる労働者と共に、労働条件の改善と暮らしやすい社会をつくるために、昨一年間、あらゆる場において労働者の連帯を求め労働運動を展開してきました。特に、出向に出され組合員が自らが置かれた場で共に働く仲間と、労働条件改善、安心して働ける職場づくりのために、あらゆる苦難を乗り越え結成

したJS労に続き、JE労を新たに結成させました。世界では戦争の惨禍が止むことなく、犠牲性になるのは常に弱者です。憲法9条を守り暮らしやすい社会と、働きやすい職場環境をつくるために、今後も新幹線関西地本は

OB会は一歩飛躍する！

OB会長 増田 豊重



2026年新年を迎えました。組合員・家族の皆さん、本年もよろしくお願いいたします。

昨年、新年早々OB会一部役員は、本部OB会解散を目的に、臨時総会を1月23日に開催しました。私たちは、そのような暴挙を許さない闘いを展開してきました。JR総連指導部から「心あるJR東海労働組合」と言われたOB会一部役員は、「現状を突破できず」

逃亡し、私たちはJR東海労と共に闘う役員体制を確立しました。各地本OB会も、過去には立派な役職を重ねてきた方々と議論し、彼らの策動を跳ね返してきました。こ

JS労とJE労の仲間と固く連帯し、東海の地に労働運動の灯を消さないために共に闘いを推し進めていきます。昨年のご支援に感謝し、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

現在のJR東海労は、JR総連脱退以降、新たな組織展望を切り拓くために、JR東海、関係会社、そして社会の矛盾と闘っている仲間との連帯を求めて取り組んでいます。昨年10月発足した高市政権による憲法9条改悪を国づくりに反対しています。

OB会は、そうした闘いを微力ですが共に担っていかねばなりません。そのためには、民間化し労使協調に成り下がったJR総連指導部が何ゆえに変質したのかを検証し、私たち一人ひとりが問題意識を高めていくことが大切だと思えます。今年は一歩前に飛躍するよう共にがんばりましょう。

組織を展望した各地本の闘い 今年も奮闘しよう！

高裁勝利判決を履行させる！

新幹線地本

明けましておめでとう
ございます。昨一年間の
御支援や御協力に改めて
感謝申し上げます。

昨年10月8日、東京高
裁は診断書強要行政訴訟
控訴審において、私たち
の主張を認めた地裁判決
を維持し、国の控訴を棄
却しました。私たちの闘
いが完全勝利した瞬間で
した。この闘いは、20
17年から続くもので、
年休取得の際に診断書提
出を要求された組合員の
「年休に診断書はいらな
いだらう」の声が始まり、
その解決を図るために申
し入れた団交の開催を拒
否したことが発端です。



今判決で、会社の不当
労働行為がより明確にな
りました。地本はこの判
決を基に、会社に速やか
に判決に基づく謝罪文の
掲示と見解を求めまし
て、更に地本は、申し入
れに対しては当然にも団
交開催を改めて強く要求
しています。この間の職
場と法廷をリンクさせた
闘いの成果を確認し、今
後も会社の労働組合監視
を糾すために、闘いを更
に展開していきます。今
後もご支援をよろしくお
願いいたします。

全ての仲間と憲法の条を守る！

静岡地本

新年明けましておめで
とうございます。

2026年を迎えて、
なお世界には戦火がやむ
ことはない場所がありま
す。昨年、太平洋戦争終
戦80年を経た日本は、こ
れまで日本国憲法と戦争
体験世代が牽引してきた
平和への希求によって平
和的に繁栄し、国際社会
から大きな信頼を得てき
ました。

しかし一方で、日本政
府は国防のためだとして
日本の軍拡化を次々と強
行してきました。そして
遂に、2025年度防衛
関係費は8兆5千億円と
初めて8兆円を突破しま
した。更に2026年度
予算案の防衛費は過去最



また日本を「戦争をす
る国」にする総仕上げと
して、憲法9条の破棄と
緊急事態条項の創設を柱
とする憲法改悪を実現し
ようとしています。私
たちは断じて許すことは
できません。

医療法人との団交を実現！

名古屋地本

本部での労働者支援相
談センター開設を受け、
名古屋地本でも相談体制
をつくり、地域の労働者
の相談を受けてきまし
た。この中で医療法人に
勤務する方からの相談を
受け、職場状況の聞き取
りを進めてきました。浮
彫となったのは、管理者
からの早め出勤の指示が
あるのに賃金が支給され
ていなかったり、重要事
項に対してマニュアルが
整備されていなかったり
、十分な賃上げがされ
ず退職者が続出し、人手
不足となっている事とし
て。

これを基に、医療法人
に対して二度の申し入れ
を行い、職場労働者が出
席する形で団交を開催し
ました。一度目の団交で
は、サービス労働となっ
ていた早め出勤での未払
い賃金の支払いを勝ち取
り、一部マニュアルの作
成や熱中症対策等の職場
改善を勝ち取り、この成
果を10・15集会で、経過
や感想を職場組合員自ら



静岡地本は「平和と人
権と次世代の未来」を守
るために、静岡県9条連
をはじめとする全ての仲
間と連携して闘ってい
きます。

2つの裁判勝利に向けて闘う！

新幹線関西地本

仲間の皆さん、明けま
しておめでとうございま
す。裁判闘争プロジェクト
トより年頭のご挨拶を申
し上げます。

新幹線関西地本より津
崎・熊谷裁判(原告渡邊、
小林)プロジェクト、休
憩裁判(原告浦谷)プロ
ジェクトとして、昨一年
間の取り組みにご協力的
いただき感謝申し上げます。

津崎・熊谷裁判は、昨
年11月14日の第6回口頭
弁論以降、併合裁判とし
て闘ってきました。JR
総連は、嘘で固めた「津
崎文書」や熊谷JR総連
前書記長報告で、JR東
海労を排除するための口
実に使い、「組織破壊を
許さず裁判勝利に向けて
組織をあげて闘う」と囁
きました。しかし今や、
あらゆる証拠を突きつけ
られ、「事実とは争わない」
としつとも必死に言い訳
じみた書面を提出しまし
ました。私たちは、JR総連
指導部の犯罪性を許さ
ず、最後まで闘います。

休憩裁判は、昨年12月
18日の第6回口頭弁論ま
で進みました。会社が原
告に対し行った、東京駅
折返し時における休憩付
与義務違反と退出後にお
ける不当な拘束は、憲法

や労基法の精神を踏みに
じり、人権を無視した蛮
行であり、絶対許せませ
ん。

現在の職場の労働条件
は、私たちJR東海労が
いなければ現状のまま変
えることができません。
この裁判もこれから人証
を含め佳境に入ります。
二つの裁判闘争プロジ
ェクトは、裁判勝利に向
け今年も全力で闘いを推
し進めます。今年もよろ
しく願います。



各地本旗開きの日程

新 幹 線	1月11日
静 岡	1月19日
名 古 屋	1月12日
新幹線関西	1月12日

リニア学習会より
※本文とは関係ありません